

令和7年度吉敷地区地域づくり協議会総会、吉敷自治会代議員会、
吉敷地区社会福祉協議会代議員会 会議録

開催日時	令和7年5月13日（火曜日）18:30～20:00
開催場所	吉敷地域交流センター講堂
内容	1. あいさつ 【白岡会長】 3協議会を代表してあいさつ 2. 議長及び議事録署名人の選出 【事務局】 議長及び議事録署名人の選出について諮ったところ、執行部に一任する声があったため、議長を上東町内会代議員の児玉氏に、議事録署名人を良城クラブ代議員の津森氏及び広報委員会代議員の佐伯氏を指名し、承認された。 【議長】 挨拶 【議長】 議事に入る前に代議員の出席状況について執行部の報告を求める。 【事務局】 出席者43名、委任状8名、合計51名で、代議員総数54名の過半数に達していることから、それぞれの会則の規定により総会及び代議員会が成立している旨の報告を行った。 3. 議事 議案（1）令和6年度事業報告及び決算報告、監査報告について 【議長】 執行部に説明を求めた。 【役員】 それぞれの事業報告を行った。 【会計】 それぞれの決算報告を行った。 【監事】 それぞれの監査報告を行った。 〈代議員〉 ・地域づくり協議会の交付金について、市に返却する交付金の残金は他の事業に回すことはできないのか。 〈事務局〉 ・人件費など俟約してやっている。残額は3月末にならないとわからないため、難しい。 〈中村会計〉 ・毎月決算するのは難しい。検討する。

〈代議員〉

- ・地域づくり協議会のえがお食堂よしき寄付金について繰越金にしているのはおかしい。雑収入でよいのでは。
- ・吉敷自治会の消防後援費の内訳で物品整備補助とは何か。本来ならば、市の方から補助があるのではないか。
- ・地区社会福祉協議会の指定寄付金とは何か。

〈事務局〉

- ・えがお食堂よしきについては雑収入は令和6年度の寄付金であり繰越金は令和5年度の決算をあげている。

〈代議員〉

- ・それならば余計に雑収入にいられたほうが良い。

〈事務局〉

- ・検討する。

〈消防団長〉

- ・物品整備補助は器庫の修理や物品の整備などで、補助の不足分である。

〈吉山会長〉

- ・指定寄付金は香典返しのことである

【議長】

他に質問がないので承認される代議員の拍手を求める。
拍手多数と認め、議案（１）は承認された。

議案（２）役員の改選について

【議長】

執行部に説明を求めた。

【白岡会長】

地域づくり協議会役員について説明した。

【中村会長】

自治会監事について説明した。

【議長】

人事案件なので採決に入る。
拍手多数と認め、議案（２）は承認された。

議案（３）令和６年度事業計画（案）及び予算（案）について

【議長】

執行部に説明を求めた。

〈代議員〉

- ・事業計画にステージの３００万円についての記載がない。
計画書と予算書はリンクさせること。
- ・防災会の備品の充実を謳っているのに安心安全事業の金額は下がっているのは何故か。 → 自治会と地域づくりを勘違いしていた。

	<代議員> ・吉敷地区社協の会費について@500×4460 戸はこれをもって了承されると思うが、会費 500 円を強制することはないか。 <中村会長> ・昨年度、貴自治会の役員さん達と話合って会費を払うことにされたのではないか <代議員> ・昨年は払ったけど、今年は難しい。集金については依頼状を出して欲しい。 【議長】 ・予算案には関係ないので、質疑は打ち切りたい。 他に質問がないので、承認される代議員の拍手を求める。 拍手多数と認め、議案（3）は承認された。 以上をもって議事を終え、議長を退任する。 【新役員あいさつ】 白岡地域づくり協議会会長・中村自治会会長、吉山地区社協会長を代表して、白岡会長があいさつをした。 4. その他 【事務局】 出席者に意見を求めた。 <大達監事> ・軽井沢通りマルシェに今年、孫と参加した。今年は盛り上がっていた。スタンプラリーが良かった。とても楽しかった。来年はもっと盛り上げたい。予算をもっとつけてもいいと思う。 <環境、小林会長> ・自治会の入会率はどうなっているか。人は一人では生きていけない。 ・子どもの問題として、最近若い人の犯罪が多い。子どもの遊び場がない。 ・協議の場をつくって欲しい。 【事務局】 他に意見等ないため、閉会とした。
問い合わせ先	吉敷地区地域づくり協議会・吉敷自治会・吉敷地区社会福祉協議会 (TEL・FAX) 083-922-3344

以上の議決事項を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。

令和7年 5月 27日

議長

児玉頼幸 

議事録署名人

津森 均 

議事録署名人

佐伯映子 